

## 院内発症脳卒中対応の現状調査へのご協力をお願い

### 1. 研究の対象

平成 28 年 3 月 1 日から平成 29 年 2 月 28 日までの期間に、川崎医科大学附属病院において、脳卒中の院内発症が疑われて脳卒中ホットラインにコールがあった患者さん

### 2. 研究目的・方法

川崎医科大学脳卒中センターでは、入院中の患者さんが脳卒中を発症された際、迅速に治療開始できるよう、院内脳卒中ホットラインを運用しています。この実態を調査する目的で、診療録より情報を収集します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

入院診療科・病棟、コールした者の職種、最終診断、発症時間、覚知から画像撮像までの時間です。

### 4. 利益相反

この研究課題を実施する関係者には大塚製薬(株)、バイエル薬品(株)、田辺三菱製薬(株)、エーザイ(株)、第一三共(株)、サノフィ(株)、武田薬品工業(株)、塩野義製薬(株)より奨学寄附金の受け入れが、第一三共(株)、サノフィ(株)から講演料の受け入れがありますが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。

### 5. お問い合わせ先

研究への参加を希望されない方や、ご質問がございましたら、研究責任者までご連絡ください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、研究参加を希望されない場合は、対象といたしません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者 川崎医科大学脳卒中医学 教授 八木田佳樹 (電話 086-462-1111)  
(Email:yyagita@med.kawasaki-m.ac.jp)